

## 大学図書館までの桜並木

校友会  
全日本  
大學生  
聯合會  
東京

第 49 号

静岡県三島市文教町 2-31-145  
日本大学国際関係学部  
校 友 会

◎常任幹事会

平成三十年六月一日(土)十六時三十分から、国際関係学部本校舎十五号館五階一五五四教室において開催された。横山雅人会長挨拶の後、会長進行により議事に移り、幹事会提案事項の内容について検討審議された。

は平成二十九年九月十九日に第七回目の合同面接会を開催し二十四社の参加企業・十九名の参加学生で九名の内定者があつた旨の報告があり。本年度も引き続き開催する計画であり、実行委員会を設置したい。委員会構成メンバーは別紙委員名簿としたい旨の提案がなされた。

その他としては田中由加幹事長から、毎月第四日曜日午前九時から一時間程度ボランティア活動の一環として本校舎西側歩道両側の清掃作業を実施するので会員皆様の参加協力をお願いしたい旨の報告があつた。

会報（第四十九号）発行について  
例年とのおり学部から学部長・事務局長、校友会から会長・副会長・常任幹事の各一名及び顧問・参与から一名の方にお願いしたい。また、在学生で校友会優秀賞授与者個人五名と各学生団体三名の委員長に原稿依頼をした旨の報告がなされた。



同時に、卒業後の進路決定に生かして欲しいと思います。

今年度から新たに観光学の宍戸学先生、英語のヴァーラ内田エイドリアンミッセル先生、英語音声学の大井川朋彦先生を国際関係学部にお迎えしました。新カリキュラムが完成する平成三十一年度には、学生たちの進路選択に誇るべき結果が出ることと確信しています。また、短期大学ビジネス教養学科にはスポーツ科学の岡野雄司先生をお迎えし、即戦力の学生の育成に努めています。

部活動では、硬式野球部が神宮球場にて開催される全日本大学野球選手権大会に出場しました。結果は惜しくも初戦敗退となりましたが、キャンパス全体が明るい話題に包まれました。また、課外活動では、静岡県による「しづおか寺子屋」創出事業として昨年度新たな形でスタートした、国際関係学部学生による近隣小学校での放課後学習指導は引き続き今年度も実施され、近隣小学校で本学部の学生が活躍しています。

同じキャンパスにある三島高等学校は約二、〇〇〇人の生徒を擁する静岡県内屈指の大規模校です。今年度創設六十周年を迎えるにあたり、生徒たちに記念イベントの企画を検討したところ、「六十周年を祝つてギネス世界記録に挑戦する」という提案が出されました。そこで、生徒主体のアクティブラーニングの一環として、このアイデア

を実現することになりました。桜陵祭の最終日に、卒業生、近隣の方々、生徒と保護者の方々、そしていた企業の方々と一緒に、全員が一丸となつて三島市のご当地グルメ「三島コロッケ」を同時に食べさせ合うペア数のギネス世界記録に挑戦しました。

当日の挑戦に至るまでには、生徒会を中心とした生徒たちが協賛金や当日のボランティアの方々を募るために東奔西走するなど、沢山の苦労と頑張りが見られました。生徒たちにとっては、まさしくアクティブラーニングを実体験した日々でした。

お陰様で、当時は一、九八〇ペアによる世界記録が達成され、日本大学三島高等学校が世界一になりました瞬間でした。

中学校は定員七十名一クラスの小さな学校ですが、丁寧な中高一貫の六年間教育を行っています。東京や神奈川県と違い私立中学校に進学させる家庭が少ない静岡県にあって、生徒募集には些か苦労しています。また、校友会の皆様方には、私ども国際関係学部・短期大学部（三島校舎）に対する平素のご支援のことと心よりお慶び申し上げます。また、校友会の皆様方には、

日本大学国際関係学部校友会の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また、校友会の皆様方には、

日本大学国際関係学部校友会の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと心よりお慶び申し上げます。また、校友会の皆様方には、



## 「ご挨拶」

国際関係学部事務局長

### 岡本敬史

ある三島キャンパスの優位性を大いに發揮して、生徒、学生の夢の実現に向けて教職員一同取り組んで参ります。来年度に創立一〇三年を

年に尽力します。校友会の皆様に

は、引き続き、国際関係学部、短期大学部（三島校舎）、三島高等学校へご支援、ご協力を切らす。また、この譲渡に伴い、東門周辺を一丸となつて三島市のご当地グルメ「三島コロッケ」を同時に食べさせ合うペア数のギネス世界記録に挑戦しました。

本教育力のある大学の一翼を担う学部として、国際関係学部、短期大学部、そして三島高等学校を実現することになりました。桜陵祭の最終日に、卒業生、近隣の方々、生徒と保護者の方々、そしていた企業の方々と一緒に、全員が一丸となつて三島市のご当地グルメ「三島コロッケ」を同時に食べさせ合うペア数のギネス世界記録に挑戦しました。

本教育力のある大学の一翼を担う学部として、国際関係学部、短期

大学部（三島校舎）、三島高等学校へご支援、ご協力を切

ります。来年度に創立一〇三年を

年に尽力します。校友会の皆様に

は、引き続き、国際関係学部、短期

大学部（三島校舎）、三島高等学校へご支援、ご協力を切

ります。来年度に創立一〇三年を

年に尽力します。校友会の皆様に

は、引き続き、国際

# 「卒業から早三十六年」



宮下公雄  
国際関係学部同窓会会长

校友の皆さまにおかれましては多方面でご活躍のほどお喜び申しあげます。国際関係学部国際関係学科一期卒業の宮下公雄と申します。

本学においては国際関係学部一期卒業の渡邊武一郎氏が学部長に就任し、更に本年度は学部長に推薦されました。これから組織改革に大きく寄与してくださると期待しております。

先日、とある場所で偶然日本大学国際関係学部の写真を撮つてくださる会社、齊藤スタジオ社長齊藤憲夫氏にお会いいたしました。

齊藤社長との出逢いは学生の頃、クラス員連絡会議で卒業アルバムを友人がお願いした事に発しますが、現在でも親交が続いております。思えば我々校友会でも同窓会では必ずお世話になり我々が参加出来ない時も必ず記念の写真を撮り続けてくださっています。来年度から国際関係学部の同窓会のご案内なります。これは同窓会メンバーも増え続け通信運搬費のみで、国際同窓会運営費が十年後には枯渇する恐れがあるからです。齊藤社長とのお話の中で国際関係学部の

同窓会アルバム委員をした仲間が今でも齊藤スタジオに集い、一度号令をかけると今でも七十名の校友が集まるそうです。齊藤社長も、長年同窓会を担当してくださっており、贊川氏も勇退を考えている様ですが、是非とも国際関係学部メンバーが集結する上でも今後ともお力添えを頂きたいと思います。

さて、私自身は大学卒業後家業の酒販店を継ぎ、現在は山梨県富士吉田市の在住しております。昨年から地元富士吉田市教育委員を受けております。

地元小学校、中学校にも学校訪問で足を運ぶのですが少子化の影響で十年前、一学年五十人いた生徒が十数人足らずの学校もあります。大変落ち着いた学校運営がされている事に驚かされておりましたが、最近ある中学で先生による体罰の事件が発生してしまった。当然生徒に体罰などもつての外ですが、最近では先生の立場と生徒の立場が逆転し生徒がお客様状態になつております。友人の学校長も、最近問題が起つたとすれば学生の問題よりも学生と共にいると病気も飛んでしまいます。数多くの思い出、それ

を難しくするとも話しております。最近の日本大学アメフト部の問題もそうですがSNSの発達で、色々な問題を複雑化しております。本質が全く見えなくなっているのも実情です。我が日本大学も来年一三〇周年を迎えます。今は苦境に置かれていますが一三〇年の歴史は多くの諸先輩方の礎があります。

## 「思い出ははてなく」



渡邊洋子  
国際関係校友会参与

日本大学国際関係学部校友会の皆様におかれましては益々御清祥のこととお慶び申し上げます。又校友会の役員の皆様に心から御礼申し上げます。

昨年まで講師を四十三年間致しました。科目は日本の食文化、調理学、フードコーディネートを国際関係学部、食栄、専攻科等で教えました。

学生時代は書道部に属し二年間過ごしました。部長となり顧問の事務の方、助手、学生を取り巻く皆様が素晴らしい方々でしたので楽しい、良き思い出ばかりです。

佐藤三武朗前学部長、関事務局長の時に新校舎のロビーに三島校舎の石碑の詩を書かせていただき楽しい、良き思い出ばかりです。

佐藤三武朗前学部長、関事務局長の時に新校舎のロビーに三島校舎の石碑の詩を書かせていただき乐しい、良き思い出ばかりです。

過ごしました。部長となり顧問のお亡くなりになりました故柳川三郎先生には御世話になりました。運動会の賞状書き、学園祭には各部門の舞台の看板やたれ幕等各部活動の書きものを頼まれました。私の書の先生は絶対頼まれたら断つてはいけないが口ぐせでした。

私はどうして皆が運動しているのに筆を持たなければいけないのかと少し不満でしたがそれ以来、どんな大きさの紙にでも頼まれた文字はぴたり入るという特技を身につけることが出来、今となつては

師匠のいう事が理解できます。

中澤先生にはフランス語を教わリフランスのパッシイの町と御殿場ティーを東京支部で発表会が出来ました。こちらにも日大関係の方々が多く参加して下さり、人の心の暖かさをしみじみ感じているこの頃です。校友会の益々の御発展を心からお祈り申し上げます。

# 「回想（夢のよくな三島時代）」



国際関係学部校友会常任幹事

早川清文

校歌齊唱、一番「日に日にあらた

に文化の華の、さかゆく世界のこう

野の上に、朝日と輝く國の名負いて、

毅然と立ちたる大学日本、正義と

自由の旗標の下に、集まる学徒の

使命は重し、いざ讃えん、大学日本、

いざ歌わんわれらが理想」

日本大学応援歌「輝く伝統、母

校のために、榮譽担い手、今開く

華の精銳日大健兒……」

これが私の大学生活の基本で

あつた。今回原稿の依頼に対しても、「私でいいですか?」と、問い合わせしたところ、「いいんだよ!」との返

事、こんな学生も居たんだ、でいいか。

昭和四十四年四月正門をくぐつ

た。ガイドンスからスタートしたと

思われる。その時四号館前のキャン

パスで各部活の勧誘が活発に行わ

れていた。そこで紋付き袴の先輩に

取り囲まれ「君は漢詩は好きか」と

聞かれた。「苦手です」と答えると

「どうか、うちに入れ、好きになる

ぞ」よくわからない答えだけど、返

事をしてしまった。それが日本大学

詩吟研究会であった。同期が十五

人ほどいて、三島の二年は女性が一

人、東京の法学部、経済学部、商学

部、文理学部で構成する本部に

二・三・四年生が六十人ほどいて、

月に二～三回指導に来てくれてい

た。三島にも師範代がいらして、週

二日ほど指導に来ていただいていた。

最初は来る日も来る日も、昼夜

中心に「あ・え・い・お・う」の发声練

習の繰り返し、夕方も五時に集合

して发声練習の繰り返しであった。

七月ごろからやつと「日本大学詩吟

研究会、会歌」である詩吟を教えて

もらつた。「人生の厚誼は温情に待

つ、手を取り肩を抱いて懇誠を尽

くす……」。吟研の仲間は面白い

やつが多くて、例えは悪いがバカが

多くいた。だから皆での練習が終

わつたら、「夜の三島は日大通り、稽

古帰りに飲む酒は、右に吟本、左に

焼酎、歌う歌なら黒田節」こんな歌

を歌いながら皆で帰路についたもの

だつた。夏休みには本部合同で九州

合宿、秋には学園祭、次に東京で、

日・中・明（日大・中央・明治）神田

三大学吟詠交換会、そして日本大

学総長杯争奪全国吟詠大会、年が

明けると新春吟詠大会と続き、年

度末には鎌倉の由比ヶ浜にて日銀

の保養所をおかりして四年生追い

出し合宿と年間の行事は進む、す

べて夜はコンパがあり酒・酒・酒、車

座の酒が進むと肩を組、「貴様と俺

とは、同期の桜、同じ日大の庭に咲

く、咲いた花なら散るのは覚悟、見

事散りましよ日大のため」常に日

本大学の名が歌詞にある歌を大声

で歌い、最後は「日大節」で酔いつぶれ、目が覚めると友人の部屋、同期にはよくお世話になつたものでした。

学生の本分である、勉学は普通に励んだことは言つておこう。また

当時、友人も多くできた。恋愛もした（歌・あなたのほほにぱつりと、

僕の涙が落ちたつけ、月の光はエメラルド、涙の色もエメラルド、あ、あ、

ラルド、涙の色もエメラルド、ているだろうか）。そんななか、今でも

交流があるのは久保田博明、矢澤幸雄両君五十年來の友人である。

ここで後輩にアドバイス、いかに長く付き合える友人・人生の宝を作

るかも、大学生活での重要な学び

の一つである。最後に当時お世話になつた、教授、友人、関係者にあり

がどう。

あの口づけをあの人には、いまも覚え

てているだろうか）。そんななか、今でも

交流があるのは久保田博明、矢澤幸雄両君五十年來の友人である。

ここで後輩にアドバイス、いかに長く付き合える友人・人生の宝を作

るかも、大学生活での重要な学び

の一つである。最後に当時お世話になつた、教授、友人、関係者にあり

がどう。

この一つで後輩にアドバイス、いかに長く付き合える友人・人生の宝を作

るかも、大学生活での重要な学び

の一つである。最後に当時お世話になつた、教授、友人、関係者にあり

がどう。

これが私の大学生活の基本で

あつた。今回原稿の依頼に対しても、「私でいいですか?」と、問い合わせしたところ、「いいんだよ!」との返

事、こんな学生も居たんだ、でいいか。

昭和四十四年四月正門をくぐつ

た。ガイドンスからスタートしたと

思われる。その時四号館前のキャン

パスで各部活の勧誘が活発に行わ

れていた。そこで紋付き袴の先輩に

取り囲まれ「君は漢詩は好きか」と

聞かれた。「苦手です」と答えると

「どうか、うちに入れ、好きになる

ぞ」よくわからない答えだけど、返

事をしてしまった。それが日本大学

詩吟研究会であった。同期が十五

人ほどいて、三島の二年は女性が一

人、東京の法学部、経済学部、商学

部、文理学部で構成する本部に

二・三・四年生が六十人ほどいて、

月に二～三回指導に来てくれてい

た。三島にも師範代がいらして、週

周りとの温度差を痛感したのを覚えてています。

丁度この時期に「富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2017」という静岡県の大学生が集う研究発表会に安元ゼミを代表して参加し「ベダ号」の物語を活かした駿河湾地域の活性化―下田・富士・戸田を中心に―とい

うテーマで発表を行いました。これまでゼミで研究した幕末に戸田で繰り広げられた日露交流の史実を、地域の人にもっと広く知つてもらうためにはどうしたらよいのか、その提案を述べたものです。発表までに原稿の作成と模造紙に一枚分のポスターを作成しなければなりませんでした。発表内容についてアイディアを出し合い、見やすく注目されることを意識したポスターを作成し、夜遅くまで何度も発表練習したのを憶えています。その甲斐

あって、私たちの研究発表は審査員の方々から高い評価を頂き、最優秀賞を受賞することができます。秀賞を受賞することができました。

又、ゼミではゼミ長を務め、ロシアのサンクトペテルブルクへのゼミ研修では二つの大学と小中学校で日本文化を紹介し、意見を交換しました。このほかにもゼミ活動をまとめた雑誌「いろはにっぽん」の製作など、貴重な経験をすることができました。

こうした経験は就職活動にも大いに役立ちました。ある会社では「学生時代に頑張ったことについての三分間のプレゼンテーション」という課題がありました。私は研究発表会と同様の内容の発表を行つたところ、関心を持つてください、結果、内定を頂きました。他大学の学生と競い合つた研究発表は本気で取り組んだことだったので、面接官に

いた。ゼミでは副ゼミ長を務め、地元で活動を始めたのは、昨年の十月に参

加したインターシップからです。参考までに就職活動について聞くと、四年生は三月から本格的に就職活動が始まりましたが、私が就職活動を始めたのは、昨年の十月に参

した。ロシア語を勉強して実際にロシアを訪問して文化を学ぶとともに現地の学生と意見交換も行いました。そのような活動を通して、駿河湾地域における日露交流についての理解をさらに深めると同時に地元の人にもっと広く知つてもらうために、この史実を元にした絵本を自分たちで描いた挿絵とともに製作し、各地の学校や図書館に寄贈しました。また地元の小学生もこの物語を朗読劇で演じたり、ペーパークラフトのヘダ号と一緒に作つたりして、この歴史を知つてもらうための活動を行いました。

これらを踏まえ、この史実を地域活性化に繋げられないかと考え、ゼミの活動と研究の成果をポスターにまとめて富士山麓アカデミック＆サイエンスフェアで発表しました。発表用のポスターと原稿を作成するに当たっては、この日露交流の歴史を知らない人が多いといった現状から、地域活性化の為の観光マップを作るなど工夫し、今後どのようなことができるのかを考え提案しました。改めて現地にも足を運び、検討に検討を重ねていく途中、心身共に疲れてしまふこともありました。改めて現地にも足を作り直し、どんな質問にでも答えらるようにして本番に臨んだところ、当日の発表も成功し最優秀賞をいたただくことができました。大きな賞をいたただいたことはこれまでなかつたため、努力が結果に繋がることを実感するとても良い経験となりました。

まだゼミでの活動は続きます。これからも多くの経験を糧にして成長することができるよう、卒業まで一日を大切に過ごしたいと思います。

國際総合政策学科四年  
下



日本大学国際関係学部に入學して、四年目となり、義務教育の期間を含めると、学業生活十五年目を迎えると、大学生活も残りわずかで、一日一日がとても早く過ぎていくのを日々実感しています。そのような日々の生活の中で心がけていることがあります。それは、早く過ぎ去っていく日々の中でどれだけ時間的有效的に活用できるかということです。早く過ぎてしまふからこそ、時間を無駄にせずにおからこそ、一日一日を大切に生活するよう心がけています。

日本大学保健体育審議会ゴルフ部に入り、残すところ一年となりました。この伝統ある部活で私は、レギュラーに入り、合宿や大学の試合、個人の試合で非常に忙しく、またその中で副主将を務めさせて頂いています。勉学と部活動との両立はとても難しく容易なものでは

國際関係学部国際総合政策課一年  
桂川有人



イトル二勝目をすることができました。それにより、日本代表のショナルチームにも選抜して頂き、多くの国際試合も経験する事ができました。その中でも、ノムラカップアジア太平洋アマチュアゴルフチーム選手権で個人一位という成績を納めることができ、今まで取り組んできたことが結果に繋がるのだとう事を改めて実感しました。

そして最後にここまでゴルフを続けさせてきた上、大学にも進学させてくれた両親やサポーターして頂いた方々に感謝しています。また来年は、社会人になるのでそれに向けて今からしつかり準備をしていきたいと思います。

そして最後にここまでゴルフを続けさせてくれた祖父と母、今までお世話して頂いた方々、大学の監督、コーチ、チームメイトに感謝しています。また、優勝しても日々の努力を大切にし、成長し続けていきたいと思います。これからもご支援よろしくお願ひ致します。

小学五年生で初めて九州大会に出場し、それから「もつと上手くなつて良い成績を残したい」という気持ちが芽生え、自分の意識を高めてくれました。

大学に入学し、春の関東大学対抗戦では、個人で最優秀選手になることができ、団体戦の優勝に貢献できました。この結果が自分自

國際綜合政策學科二年



校友会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申しあげます。

昨年、日本大学国際関係学部に入学し学生生活も早いもので二年目を迎えました。入学したころは福岡から一人で来て大学での生活や、寮生活に少し不安がありましたが良い先輩や同級生、コーチに出会うことができとても充実した学生生活を送ることができます。大学に来て身の周りのことは自分で全てするようになり、改めて親のありがたさを知ることになります。

することができました。この優勝が自信になり、文部科学大臣杯においても優勝することができます。一年生で二度の全国大会優勝を経験することができ、今後の自分のプレーに生かせると感じました。この一年は、団体戦を通して緊張感や勝った時の喜び、一つの大きな個人戦での勝利は自分をフィジカルの面でもメンタルの面でも高めてくれたと思います。

そして最後にここまでゴルフを続けさせてくれた祖父と母、今まで

お世話して頂いた方々、大学の監督、コーチ、チームメイトに感謝しています。また、優勝しても日々の努力を大切にし、成長し続けていきたいと思います。これからもご支援よろしくお願ひ致します。

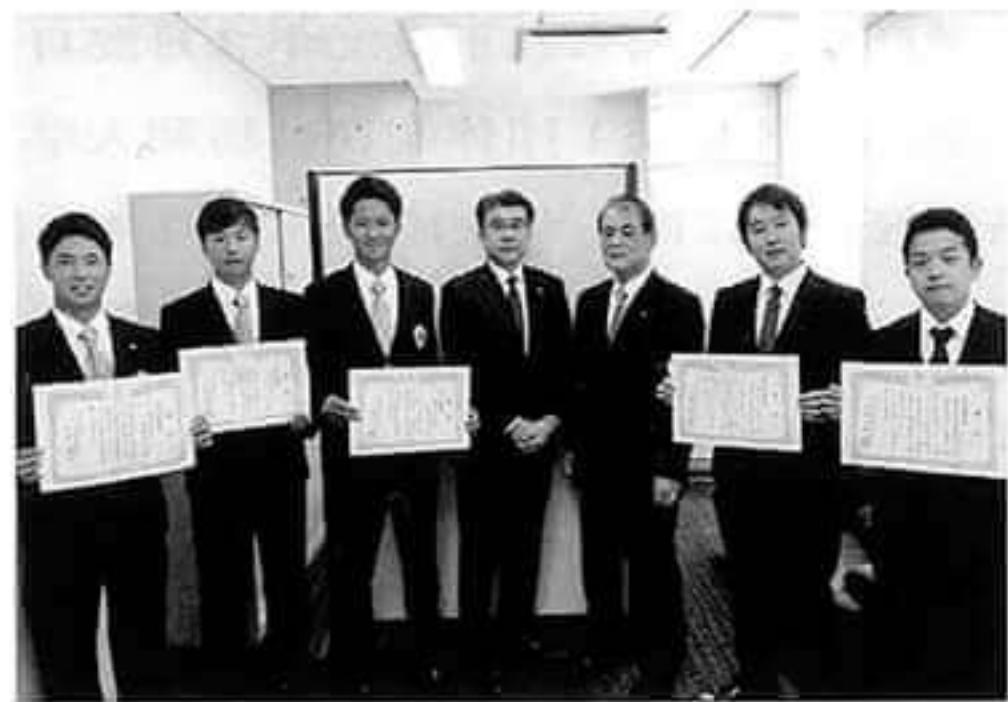
日本大学保健体育審議会ゴルフ部に入り、この伝統ある部活で私はレギュラーに入ることができました。合宿や大学の団体戦、個人戦で非常に忙しく、勉強と部活動の両立は難しく、とても容易なものではありませんが、やりがいのある日々をおくることが出来ています。私がゴルフを始めたきっかけは、九歳の時父に家の近くの練習場へ連れて行つてもらつてからです。それからゴルフの魅力に惹かれゴルフにのめり込んでいきました。

小学五年生で初めて九州大会に出場し、それから「もつと上手くなつて良い成績を残したい」という気持ちが芽生え、自分の意識を高めてくれました。

大学に入学し、春の関東大学対

身の自信につながり、夏の日本学生ゴルフ選手権で優勝できました。自分自身初めての全国タイトルで、とても嬉しかったです。これまでの積み重ねが結果に繋がる事を改めで実感しました。そしてこの結果で自信を持ち、さらに上のステージで戦いたいという気持ちが強くなり、日々の練習をもつと集中して大事にしようと思いました。

最後に、これまでゴルフを続けさせてくれ大学にも進学させてくれた両親に感謝しています。これからも学業と部活動の両立を目指して頑張ります。



## 各団体代表者 「文化会」



国際総合政策学科三年

### 石川 真世

私がこの日本大学国際関係学部に入学し、早くも三年目の夏になりました。思い返すと大学入学が決まり進学の為地元を離れた当初は沢山の期待と不安を抱えていました。

ました。初めて親元を離れ生活していく上で、思いつく限りの目標を書き連ねました。(そのほとんどはつい最近まで忘れていました。)生み重ねが結果に繋がる事を改めで実感しました。そしてこの結果で自信を持ち、さらに上のステージで戦いたいという気持ちが強くなり、日々の練習をもつと集中して大事にしようと思いました。

最後に、これまでゴルフを続けさせてくれ大学にも進学させてくれた両親に感謝しています。これからも学業と部活動の両立を目指して頑張ります。

## 「体育会」



国際総合政策学科三年

### 中川 幸輝

日本大学国際関係学部に入学し三年が経とうとしています。私は日大付属の明誠高校からきて、この大学で知り合った友達に陸上部に誘われ入部しました。しかし、高校の時から陸上競技をしてきて、この大学で知り合った友達に陸上部に誘われ入部しました。在部長を務め、体育会会长として幹部の方々と運動部の活動を盛り上げていくために活動しています。



国際総合政策学科三年

### 篠田 宏樹

日本大学国際関係学部に入学し、早くも二年という月日が経ちました。私は富桜祭実行委員会委員長として富桜祭を成功させるため、実行委員とともに日々活動をしておりました。六十八年目を迎える今年、実行委員の数は約一三〇名となりました。私が入部したての頃、その人數の多さは安心に繋がりました。当初八十名を超える先輩方は実行委員会の仕事に限らず、様々なことをたくさん教えてくださいました。そんな先輩方の統率をとる姿に憧れて実行委員長になつた私でしたが、いざ自分が実行委員を統括する立場に立つたとき、人並み以上の「自覚と責任」が必要であることを再認識しました。

私の言動は実行委員全体の志気にしてかけがえのない仲間と出会いに繋がり、更にそれは協力して頂く団体や企業の方々の実行委員に対する印象に繋がります。私は活動外でも、言動のみならず立ち振舞いにまで気を遣い、「どう伝えれば実行委員会の向上に繋がるか、何が指示や助言をする度に「どう伝えられるか」を日々自問自答し続ければ、会長という立場に本来立つ様な人間ではありませんが、このような経験をさせてくれた本大學生に感謝し、残り半年の任期を全力で務めさせて頂きます。これからも体育会を宜しくお願い致します。

自分は人前に立つような器でもなければ、会長という立場に本来立つ様な人間ではありませんが、この何倍も楽しく前向きに活動を続けることができました。こんな間として接してくれる頼れる同期が数後輩、そして委員長として以上に引退しても時々気にかけ助言をしてくださる先輩、どんな仕事を任せてもやり遂げてくれる優秀な後輩に幸せだと思います。感謝の気持ちしかありません。

今年度の富桜祭のテーマは「航く祭り求める宝が、ここにある」です。富桜祭には、他では見られない魅力が多数あります。様々な国の人々が乐しめる模擬店、各国の文化の伝承を目的とする展示、国際交流を予定しております。「航く」という言葉の通り、来場者の方々には富桜祭を巡つていただき、最終的に幸せだと思います。感謝の気持ちしかありません。

この富桜祭が「その人だけの宝物」になれば幸いです。ぜひ、あなただけの宝を求めて富桜祭を巡りに来てください。

私はまだまだ委員長として半人前ですが、当日まで限られた残り少ない期間、来場者の方々はもちらんのこと、各団体、先生方、地域の方々、実行委員、富桜祭に関わっていただいた全ての方々にとつて最高の富桜祭になるよう最後まで尽力致します。今後とも富桜祭を、そして富桜祭実行委員会を、どうぞ宜しくお願ひします。

# 平成29年度 事業報告

- 1 国際関係学部校友会会长賞等授与  
 平成29年度日本大学国際関係学部在学生から、次の者が国際関係学部長から推薦された。  
 ・校友会会长賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部5名に贈られ平成30年3月25日の卒業式当日ホテルメトロポリタンエドモンドにおいて授与式が行われた。  
 ・校友会優秀賞（副賞：奨励金）は、国際関係学部2名及び1団体並びに短期大学部2名に贈られ平成30年3月25日の卒業式当日、ホテルメトロポリタンエドモンドにおいて授与式が行われた。  
 ・校友会優秀賞（副賞：奨学金）は、国際関係学部5名に贈られ平成30年4月4日開講式当日、桜アリーナにおいて授与式が行われた。  
 ①校友会会长賞（副賞：奨励金）  
     仲 萌菜実（国際教養学科4年） 坂本 早穂（国際総合政策学科4年） 小野 勇太（国際総合政策学科4年）  
     武藤 航至（国際総合政策学科4年） 野間口 健（国際総合政策学科4年）  
 ②校友会優秀賞（副賞：奨励金）  
     田畑 祐梨（国際教養学科4年） 井上 和也（国際総合政策学科4年）  
     （団体）ゴルフ部  
     高橋 美帆（専攻科食物栄養2年） 渡部 もも（短大食物栄養学科2年）  
 ③校友会優秀賞（副賞：奨学金）  
     岡部 星輝（国際教養学科3年） 小森 聖也（国際総合政策学科3年）  
     大澤 和也（国際総合政策学科3年） 桂川 有人（国際総合政策学科1年） 清水 大成（国際総合政策学科1年）  
 1 スマホ・携帯ストラップ  
 860個を平成29年4月国際関係学部・短期大学部（三島）各学科の新入生全員に対して入学祝として渡した。  
 1 会報発行  
 会報48号を平成29年9月1日付け22頁 20,500部を発行した。  
 1 各事業に対する補助  
 ①国際同窓会及び山形県支部に対する補助  
 ②大学の体育会に対する補助  
 ③箱根駅伝選手応援に対する補助  
 ④就職合同面接会に対する補助  
 1 常任幹事会  
 平成29年6月3日（土）16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。  
 1 幹事会  
 平成29年6月3日（土）17時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館5階において開催した。  
 1 総会並びに懇親会  
 平成29年7月15日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催した。  
 1 国際校友会公式WEBサイト更新  
 平成29年4月から公式WEBサイト（ホームページ）に年間14回に渡り校友会行事を写真集として更新しました。  
 1 就職合同面接会  
 平成29年9月19日（火）13時から17時まで、国際関係学部三島駅北口校舎6階に於いて国際関係学部・短期大学部の卒業予定者に対する就職支援の一環とした合同面接会を開催した。（参加企業 24社：参加学生 19名：内定者 9名）  
 1 箱根駅伝予選会応援  
 平成29年10月14日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援した。  
 1 富桜祭物産展参加  
 平成29年10月28日（土）-29日（日）両日に開催された第67回富桜祭に校舎15号館1階スタディエリアの一部を使用して校友会主催による地元特産物等の販売をした。  
 1 ホームカミングデー開催  
 平成29年10月28日（日）13時から15時まで校舎13号館2階講師室にて開催した。当日は国際関係学部卒業生・在学生並びに法・文理・経済学部移行生8名の参加者となった。  
 1 銀杏並木歩道清掃作業  
 本校舎西側（県道21号線）歩道両側の清掃作業を実施した。ボランティア活動の一環として毎月第4日曜日の午前9時から約1時間、銀杏並木南側歩道橋附近から北側幸原町交差点までの両側歩道植え込み清掃を4月23日を第1回目として10回実施し、参加者は校友会会員に加えレディース桜門会並びに日大三島高校生徒等延べ65名が参加した。

## 平成29年度 収支決算書 (平成29年4月1日～平成30年3月31日) (単位:円)

支出の部				収入の部			
項目	予算額	決算額	差額	項目	予算額	決算額	差額
獎 学 費	390,000	500,000	△ 110,000	会 費 収 入	13,700,000	13,337,000	363,000
校 友 会 報 発 行 費	660,000	686,880	△ 26,880	雜 収 入	750,000	800,791	△ 50,791
各 科 同 窓 会 等 補 助	400,000	100,000	300,000				
学 生 団 体 補 助	800,000	449,800	350,200				
総会並びに懇親会費	1,200,000	1,266,654	△ 66,654				
箱根駅伝応援補助	920,000	173,160	746,840				
本 部 校 友 会 費	470,000	470,000	0				
入 学 記 念 品 費	400,000	371,520	28,480				
卒 業 記 念 品 費	2,500,000	1,780,000	720,000				
会 議 会 合 費	300,000	269,686	30,314				
通 信 運 搬 費	1,850,000	2,063,529	△ 213,529				
ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 費	400,000	397,440	2,560				
事 務 費	1,500,000	1,699,950	△ 199,950				
会 員 名 簿 作 成 費	200,000	16,524	183,476				
就 職 合 同 面 接 会 運 営 費	300,000	520,260	△ 220,260				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雜 費	800,000	817,450	△ 17,450				
国際関係学部校友会奨学金支援基金	250,000	250,000	0				
予 備 費	100,000	0	100,000				
計	13,540,000	11,932,853	1,607,147	計	14,450,000	14,137,791	312,209
基 金 繼 入 額	300,000	300,000	0	基 金 繼 出 額	0	0	0
次 年 度 繰 越 金 (繰越金)	30,059,331	31,354,269	△ 1,294,938	前 年 度 繰 越 金	29,449,331	29,449,331	0
支 出 の 部 合 計	43,899,331	43,587,122	312,209	取 入 の 部 合 計	43,899,331	43,587,122	312,209

## 貸借対照表 (平成29年3月31日現在) (単位:円)

借 方		貸 方	
項 目	金 額	項 目	金 額
普 通 預 金	46,354,269	基 金	19,740,000
定 期 預 金	4,740,000	前 年 度 繰 越 金	19,440,000
		本 年 度 繰 入 額	300,000
		本 年 度 繰 出 額	0
		次 年 度 繰 越 金	31,354,269
		繰 越 金	31,354,269
合 計	51,094,269	合 計	51,094,269

## 基 金 の 内 訳

項 目	前 年 度 繰 越 額	本 年 度 繰 入 額	本 年 度 繰 出 額	合 计
基 金	19,440,000	300,000	0	19,740,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,480,000	100,000	0	6,580,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,480,000	100,000	0	6,580,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,480,000	100,000	0	6,580,000
計	19,440,000	300,000	0	19,740,000

平成29年度収支について関係帳簿並びに証拠書類を精査いたしましたが、記帳その他正確であることを認めます。

平成30年4月28日

会計監査 藤 本 文 彦 ㊞  
会計監査 木 村 貴美和 ㊞

# 平成30年度事業計画

- 1 国際関係学部校友会長賞等授与（副賞：奨励金もしくは奨学金）  
 日本大学国際関係学部及び短期大学部（三島校舎）を平成31年3月卒業・4月進級の予定者を対象とする。  
 ・校友会会长賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 3名  
 ・校友会優秀賞並びに奨励金 国際関係学部 4年卒業予定者 4名  
 ・校友会優秀賞並びに奨学金 短期大学部（専攻科含む） 2年卒業予定者 2名  
 国際関係学部 2・3年生在学生 4名  
 短期大学部（専攻科含む） 1年生在学生 2名
- 1 スマホ・携帯ストラップ  
 1,100個を製作し平成30年4月大学院及び国際関係学部並びに短期大学部（三島校舎）各学科及び専攻科の新入生全員に対して入学祝として渡す。
- 1 会報発行  
 会報49号（平成30年9月1日付）22頁 20,700部発行予定。
- 1 各事業に対する補助  
 ①各科同窓会及び支部に対する補助  
 ②大学体育会・文化会に対する補助  
 ③箱根駅伝応援（予選会含む）に対する補助  
 ④全日本大学女子駅伝対校選手権大会応援に対する補助  
 ⑤就職合同面接会に対する補助
- 1 常任幹事会  
 平成30年6月2日（土）16時30分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 幹事会  
 平成30年6月2日（土）17時10分から、国際関係学部本校舎 校舎15号館において開催する。
- 1 総会並びに懇親会  
 平成30年6月30日（土）16時から、みしまプラザホテルにおいて開催する。
- 1 国際校友会公式WEBサイト更新
- 1 就職合同面接会  
 平成30年8月3日（金）国際関係学部三島駅北口校舎に於いて国際関係学部・短期大学部の平成30年度卒業予定者等を対象とした主に県内本学出身代表者企業参加による合同面接会を開催する。
- 1 箱根駅伝応援  
 平成30年10月13日（土）国営昭和記念公園コースのスタート・ゴール地点及び中間地点で応援する。
- 1 全日本大学女子駅伝応援  
 平成30年10月21日（日）仙台市陸上競技場スタート応援地点及び仙台市役所前ゴール応援地点で応援する。
- 1 富桜祭物産展参加  
 平成30年10月27日（土）28日（日）に開催される第68回富桜祭に校舎15号館1階スタディエリアの一部を使用して10時から16時まで校友会主催による地元特産物等の販売に参加する。
- 1 ホームカミングデー開催  
 ①平成30年8月15日（水）16時から20時まで佐藤塾（本町交差点）にて日大三島高校同窓会三島支部との共催による「三島大祭りバージョン」を国際関係学部・短期大学部（三島）及び日大三島高校卒業生並びに法・文理・経済・商学部移行生を対象として開催する。  
 ②平成30年10月27日（土）11時から15時まで校舎13号館2階講師室にて国際関係学部・短期大学部（三島）及び法・文理・経済・商学部移行生を対象とした学園訪問懇談会を開催する。
- 1 箱根駅伝応援  
 平成31年1月3日（木）復路スタート応援地点で応援する。また、平成31年1月2日（水）往路ゴール応援地点及び平成31年1月3日（木）復路スタート応援地点で国際関係学部チアリーディング部・文化会所属吹奏楽部の学生が応援に参加する。
- 1 銀杏並木歩道清掃作業  
 ボランティア活動の一環として、本校舎西側（県道21号線）歩道両側の清掃作業を実施する。実施日は毎月第4日曜日午前9時から約1時間とする。

## 平成30年度収支予算書（平成30年4月1日～平成31年3月31日）（単位:円）

支出の部				収入の部			
項目	本年度予算額	前年度予算額	差額	項目	本年度予算額	前年度予算額	差額
奨学費	520,000	390,000	130,000	会費収入	13,550,000	13,700,000	△ 150,000
校友会報発行費	680,000	660,000	20,000	雑収入	750,000	750,000	0
各科支部等補助	400,000	400,000	0				
学生団体補助	800,000	800,000	0				
総会並びに懇親会費	1,200,000	1,200,000	0				
箱根駅伝応援等補助	920,000	920,000	0				
本部校友会会費	470,000	470,000	0				
入学記念品費	400,000	400,000	0				
卒業記念品費	1,800,000	2,500,000	△ 700,000				
会議会合費	300,000	300,000	0				
通信運搬費	2,000,000	1,850,000	150,000				
ホームページ運営費	400,000	400,000	0				
事務費	1,600,000	1,500,000	100,000				
会員名簿作成管理費	100,000	200,000	△ 100,000				
就職合同面接会運営費	500,000	300,000	200,000				
日本大学130周年記念寄付金	100,000	100,000	0				
雑費	900,000	800,000	100,000				
国際関係学部校友会奨学金支援基金	250,000	250,000	0				
予備費	100,000	100,000	0				
計	13,440,000	13,540,000	△ 100,000	計	14,300,000	14,450,000	△ 150,000
基金繰入額	300,000	300,000	0	基金繰出額	0	0	0
次年度繰越金（繰越金）	31,914,269	30,059,331	1,854,938	前年度繰越金	31,354,269	29,449,331	1,904,938
支出の部合計	45,654,269	43,899,331	1,754,938	収入の部合計	45,654,269	43,899,331	1,754,938

## 基金の内訳

(単位:円)

項目	前年度繰越額	本年度繰入額	本年度繰出額	合計
基 金	19,740,000	300,000	0	20,040,000
日本大学創立150周年記念事業基金準備金	6,580,000	100,000	0	6,680,000
国際関係学部創立50周年記念事業基金準備金	6,580,000	100,000	0	6,680,000
三島学園開設75周年記念事業基金準備金	6,580,000	100,000	0	6,680,000
計	19,740,000	300,000	0	20,040,000

## 平成 30 年度役員

		氏名(在学年度)
役	職	
教	養	根岸元宏(31・32)
幹	事	渡部浩司(31・32)
幹	事	大村日出雄(32)
幹	事	甲田知由(33)
幹	事	吉野洋一(35)
幹	事	鈴木肇(35)
幹	事	御供政紀(35・36)
幹	事	小澤文郎(36)
幹	事	坂口正剛(37)
幹	事	小石川宣照(37)
幹	事	遠藤日出夫(37)
幹	事	渡辺博夫(37)
幹	事	両角勇(42)
幹	事	江川洋(42)
幹	事	林田孝二(43)
幹	事	藤幡俊量(46)
幹	事	高藤省三(49)
幹	事	野村諒子(46)
幹	事	瀧本博(53)
幹	事	中川一(56)
文	会	
幹	事	岩崎尚枝(41・42)
幹	事	隅田やす代(43・44)
幹	事	野村恭子(44・45)
幹	事	園田正子(45・46)
幹	事	小永井京子(46・47)
幹	事	内田恵子(51・52)
幹	事	高橋真理子(51・52)
幹	事	関野啓子(51・52)
幹	事	中野利庸子(52・53)
幹	事	榎本睦美(52・53)
幹	事	杉浦美恵子(53・54)
幹	事	石井千枝子(55・56)
幹	事	高橋令子(56・57)
幹	事	西島節子(56・57)
幹	事	疋田仁美(57・58)
幹	事	沼上博美(48・49)
幹	事	小林美佐枝(49・50)
幹	事	田邊尚美(50・51)
幹	事	前川和代(50・51)
幹	事	松村啓子(51・52)
幹	事	諏訪部昭子(51・52)
幹	事	斎藤千鶴子(51・52)
幹	事	和田律子(51・52)
幹	事	興野智子(51・52)
幹	事	佐野有美(51・52)
幹	事	大塚久子(51・52)
幹	事	瀬川晶子(51・52)
幹	事	吉川しのぶ(51・52)
幹	事	山崎潤子(53・54)
幹	事	田中真由美(53・54)

役職	氏名(在学年度)
会長	横山雅人(56~59)
副会長	宮下公雄(54~57)
副会長	濱田義之(45)
副会長	山田浩子(41~42)
副会長	江本博勝(46~47)
副会長	野中美香(55~56)
副会長	弓場重明(44~45)
幹事長	田中由雄(42~43)
常任幹事 (庶務担当)	関野幹雄(48~49)
常任幹事 (庶務担当)	関野浩二(57~60)
常任幹事 (会計担当)	山瀬匠(08~09)
常任幹事 (会計担当)	塩谷典子(56~59)
常任幹事	市川紀子(35~36)
常任幹事	伊奈敏文(39~40)
常任幹事	染谷徳昭(42~43)
常任幹事	山口良児(43~44)
常任幹事	平岩美知子(44~45)
常任幹事	久保田博明(45~46)
常任幹事	遠藤晶子(44~45)
常任幹事	早川清文(45~46)
常任幹事	西野和衛(46~47)
常任幹事	瀬川宏(47~48)
常任幹事	神戸絹代(47~48)
常任幹事	多田清吾(47~48)
常任幹事	鈴木允(48)
常任幹事	露木ひろみ(52~53)
常任幹事	松原裕二(54~57)
常任幹事	勝亦幾代(56~57)
常任幹事	西田昭子(57~58)
常任幹事	高野誠(57~60)
常任幹事	勝又義博(57~60)
常任幹事	平澤佳代子(58~59)
常任幹事	野田正人(62~63)
常任幹事	対木智宏(62~63)
常任幹事	久保和之(63~01)
常任幹事	久保田裕子(01~02)
常任幹事	藤澤博隆(03~04)
常任幹事	渡邊孝哉(09~10)
常任幹事	深澤ほの香(23~26)
常任幹事	日吉智(25~26)
会計監査	藤本文彦(52~53)
会計監査	木村貴美和(55~58)

任期(H30.4.1 ~H33.3.31)

役	職	氏	名(在学年度)
顧	問	柴田	正(41·42)
顧	問	小早川	隆義(42·43)
顧	問	相田	信次(44·45)
参	与	渡辺	洋子(35·36)
参	与	岩崎	一雄(43·44)

公式WEBサイト



URL <http://www.nu-ir-kovukai.jp/>

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	金城三十二(59・60)	幹	事	小林亜希(07・08)	幹	事	足立俊子(54・55)
幹	事	武井直子(60・61)	幹	事	長川あかね(07・08)	幹	事	原賀桂津世(54・55)
幹	事	土佐谷泰子(61・62)	幹	事	野村奈央(07・08)	幹	事	武田裕美(55・56)
幹	事	田伏正和(01・02)	幹	事	野村美之(07・08)	幹	事	名取厚子(56・57)
幹	事	名雪しげみ(01・02)	幹	事	山崎幸恵(08・09)	幹	事	北川早苗(56・57)
幹	事	菅江 稔(02・03)	幹	事	林 隆子(09・10)	幹	事	山崎睦子(57・58)
幹	事	明石知恵美(02・03)	幹	事	成島敦子(09・10)	幹	事	田中裕子(57・58)
幹	事	川原浩貴(03・04)	幹	事	工藤美咲(10・11)	幹	事	竹村峰加(57・58)
幹	事	小野和彥(03・04)	商経・一部			幹	事	高野直美(58・59)
幹	事	今川高宏(04・05)	幹	事	萩野谷 肇(41・42)	幹	事	秋山恵子(58・59)
幹	事	町野智彦(05・06)	幹	事	上田定義(41・42)	幹	事	佐野裕子(58・59)
幹	事	池田昌史(08・09)	幹	事	加藤久貴(46・47)	幹	事	阿部昭子(59・60)
幹	事	成田伸行(08・09)	幹	事	秋山稔明(46・47)	幹	事	鍵山美希(59・60)
桜栄会			幹	事	海野順子(46・47)	幹	事	神田留美子(60・61)
幹	事	山口玲子(34・35)	幹	事	野田 栄(47・48)	幹	事	佐藤明美(61・62)
幹	事	阿部麻子(35・36)	幹	事	辻本真由美(51・52)	幹	事	後藤澄映(61・62)
幹	事	木崎有里子(35・36)	幹	事	田代 稔(51・52)	幹	事	松繩和恵(62・63)
幹	事	渡辺かよ子(35・36)	幹	事	大島裕二(52・53)	幹	事	内田美典(62・63)
幹	事	板垣和代(36・37)	幹	事	岡田美喜子(53・54)	幹	事	中川みどり(62・63)
幹	事	佐野茂子(36・37)	幹	事	吉川浩司(54・55)	幹	事	神戸一葉(62・63)
幹	事	小泉陽子(36・37)	幹	事	後藤幸江(58・59)	幹	事	白石 忍(63・01)
幹	事	中村満里子(37・38)	幹	事	斎藤みどり(59・60)	幹	事	田邊久美子(63・01)
幹	事	川口裕子(37・38)	幹	事	長澤裕子(59・60)	幹	事	伊藤芳枝(63・01)
幹	事	米山日出子(37・38)	幹	事	斎藤千春(01・02)	幹	事	渡邊陽子(01・02)
幹	事	金井美智子(38・39)	幹	事	南 まり子(03・04)	幹	事	山本いづみ(01・02)
幹	事	小坂照子(38・39)	幹	事	川口恭子(04・05)	幹	事	犬塚久恵(01・02)
幹	事	塩谷まさよ(38・39)	幹	事	白川美保(05・06)	幹	事	鈴木みのり(01・02)
幹	事	井原康恵(38・39)	幹	事	小柴慶子(06・07)	幹	事	関口葉子(01・02)
幹	事	望月千登世(38・39)	商経・二部			幹	事	石井三香子(02・03)
幹	事	浅田義志子(39・40)	幹	事	杉山敏明(34・35)	幹	事	藤森久美子(02・03)
幹	事	秋山幸子(39・40)	幹	事	渡辺 勝(38・39)	幹	事	渡辺幸子(02・03)
幹	事	関口 瑞(39・40)	幹	事	久保田 勝(38・39)	幹	事	杉本宏子(02・03)
幹	事	福尾つや子(39・40)	幹	事	佐野勝己(39・40)	幹	事	稻葉美香(02・03)
幹	事	神部文子(39・40)	幹	事	土屋忠得(40・41)	幹	事	高鹿真弓(03・04)
幹	事	伊達伸子(40・41)	幹	事	鈴木正八(44・45)	幹	事	森川容子(03・04)
幹	事	高橋美鶴(40・41)	幹	事	小澤義明(46・47)	幹	事	秋山由紀(03・04)
幹	事	石黒榮美子(41・42)	幹	事	土屋大蔵(46・47)	幹	事	長瀬理恵子(03・04)
幹	事	鳥羽山資子(41・42)	幹	事	宮川 守(47・48)	幹	事	北園実由貴(03・04)
幹	事	秋山悦子(41・42)	幹	事	西島典雄(47・48)	幹	事	阿部衣子(03・04)
幹	事	渡辺あき子(41・42)	幹	事	小川正治(49・50)	幹	事	川口文子(03・04)
幹	事	嶋 美也子(41・42)	幹	事	近藤芳治(49・50)	幹	事	長田瑞紀(04・05)
幹	事	伊藝 瞳(41・42)	幹	事	津田正克(50・51)	幹	事	梅田敏江(04・05)
幹	事	駿藤春代(42・43)	幹	事	甲斐幸博(51・52)	幹	事	望月美代子(04・05)
幹	事	石原泰代(42・43)	幹	事	甲斐忠則(51・52)	幹	事	植松郁子(05・06)
幹	事	影山貴美枝(43・44)	幹	事	後藤善夫(52・53)	幹	事	古川みどり(05・06)
幹	事	土屋時子(43・44)	幹	事	加藤喜章(53・54)	幹	事	天野法子(05・06)
幹	事	柴田敬子(44・45)	幹	事	鈴木理平(54・55)	幹	事	古屋美帆(06・07)
幹	事	川村千代子(45・46)	幹	事	内野祥司(55・56)	幹	事	長田弘子(06・07)
幹	事	辻 緑(45・46)	幹	事	守野敏也(55・56)	幹	事	波多野律子(06・07)
幹	事	小林秀実(45・46)	幹	事	山田 良(55・56)	幹	事	斎藤文江(06・07)
幹	事	杉本清美(46・47)	幹	事	鈴木明彦(57・58)	幹	事	佐野真弓(06・07)
幹	事	佐藤奈津美(47・48)	幹	事	杉山勝行(57・58)	幹	事	稻田友美(07・08)
幹	事	鈴木佳津江(47・48)	幹	事	黒田文量(59・60)	幹	事	橋本春佳(07・08)

役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)	役職	氏名(在学年度)
幹事	田村理絵(09・10)	幹事	山下朋子(61・62)	幹事	神田みつ子(47・48)
幹事	内田 恵(09・10)	幹事	鷺尾貴子(62・63)	幹事	勝又昌代(48・49)
幹事	渡邊明子(09・10)	幹事	田上順子(62・63)	幹事	原 康子(48・49)
幹事	植野敦子(09・10)	幹事	山口美樹(62・63)	幹事	杉澤道代(48・49)
幹事	佐野文美(10・11)	幹事	大須賀美穂(63・01)	幹事	碓井久美子(49・50)
幹事	鞍本鮎美(11・12)	幹事	櫻田智栄美(63・01)	幹事	岩田智加子(50・51)
幹事	尾間裕仁(11・12)	幹事	三宅理砂子(63・01)	幹事	大沼めぐみ(50・51)
幹事	笠原奈津子(11・12)	幹事	野上 香(63・01)	幹事	峰田富美子(51・52)
幹事	宮田朋子(11・12)	幹事	日吉美由紀(63・01)	幹事	山口智佳子(51・52)
幹事	鈴木典子(12・13)	幹事	高梨いづみ(63・01)	幹事	堤 令子(52・53)
幹事	小林由佳(12・13)	幹事	勝俣千穂(01・02)	幹事	白井道代(52・53)
幹事	赤川智海(12・13)	幹事	田村尚子(01・02)	幹事	石橋治代(52・53)
幹事	小出祐子(12・13)	幹事	杉村智恵(01・02)	幹事	岩崎美浪(52・53)
幹事	峯松園美(13・14)	幹事	湯原里美(01・02)	幹事	竹内厚子(52・53)
幹事	山田美穂(13・14)	幹事	市川智香(02・03)	幹事	宮澤正江(52・53)
幹事	遠藤友海(13・14)	幹事	岡本ゆう子(02・03)	幹事	遠藤豊美(52・53)
幹事	清水磨希子(13・14)	幹事	羽田真理子(02・03)	幹事	長谷川規子(52・53)
幹事	高橋由実(13・14)	幹事	望月ゆりか(03・04)	幹事	松川順子(52・53)
幹事	米永寿子(13・14)	幹事	安田ひとみ(03・04)	幹事	松崎光子(52・53)
幹事	岩田直子(14・15)	幹事	西村直子(03・04)	幹事	中澤小雪(53・54)
幹事	大沼秋桜子(14・15)	幹事	宮本久美子(03・04)	幹事	斎藤裕子(53・54)
幹事	高橋美絵子(14・15)	幹事	渡邊真理子(03・04)	幹事	長田智子(53・54)
幹事	石渡麻史(14・15)	幹事	小澤知子(04・05)	幹事	押見恵美子(53・54)
幹事	服部直美(14・15)	幹事	出口幸子(04・05)	幹事	船石圭子(53・54)
幹事	秋山絵操(14・15)	幹事	井上雅代(04・05)	幹事	四條里美(53・54)
幹事	山田真理子(14・15)	幹事	西岡かおり(04・05)	幹事	鶯巣かほる(53・54)
幹事	小野順子(14・15)	幹事	田村美保(04・05)	幹事	藤原和美(54・55)
幹事	栗田裕子(15・16)	幹事	岩下志保(05・06)	幹事	原田純子(54・55)
幹事	河原崎朱里(15・16)	幹事	関屋園子(05・06)	幹事	池谷美津子(54・55)
幹事	平澤怜子(15・16)	幹事	渡邊千史(05・06)	幹事	中澤由利子(54・55)
幹事	田村美沙子(15・16)	幹事	川口由美子(05・06)	幹事	佐伯絵里子(54・55)
幹事	植松明菜(15・16)	幹事	池谷尚美(05・06)	幹事	伊藤若菜(54・55)
幹事	荻島宏予(15・16)	幹事	中村理恵子(05・06)	幹事	吉田麻理子(55・56)
幹事	渡邊裕未(15・16)	幹事	遠藤理愛(05・06)	幹事	藤田建江(56・57)
幹事	荒井沙織(15・16)	幹事	神尾かほり(06・07)	幹事	小澤里佳子(56・57)
幹事	宇野浩吏(16・17)	幹事	田中里都美(06・07)	幹事	深津久美子(56・57)
幹事	星野成幸(16・17)	幹事	鈴木寛子(06・07)	幹事	石谷美智子(57・58)
幹事	渡邊 尚(16・17)	幹事	山本静香(06・07)	幹事	田中恵子(57・58)
幹事	松島佳奈子(16・17)	幹事	佐藤純子(06・07)	幹事	嶋由樹子(57・58)
幹事	中西麻純(16・17)	幹事	三須洋美(06・07)	幹事	鈴木江利子(57・58)
幹事	増島清美(16・17)	幹事	齊藤真由美(07・08)	幹事	鈴木敦子(58・59)
幹事	萩原美香(16・17)	幹事	和泉久美(07・08)	幹事	武藤さゆり(58・59)
幹事	平川綾乃(16・17)	幹事	小野澤美和(07・08)	幹事	荻沢洋子(58・59)
幹事	綾部久美子(16・17)	幹事	小林世以子(07・08)	幹事	山田明子(58・59)
幹事	桑山理沙(16・17)	幹事	中林香子(07・08)	幹事	鈴木佳乃(59・60)
幹事	飯田泰恵(17・18)	幹事	水谷鯉恵(07・08)	幹事	中條朝子(59・60)
幹事	石川裕里佳(17・18)	幹事	横田 忍(07・08)	幹事	加藤容子(59・60)
幹事	中山朋美(17・18)	幹事	中橋智子(08・09)	幹事	清水佳乃(59・60)
幹事	田中沙季(17・18)	幹事	神戸亜里沙(08・09)	幹事	稻葉桂子(60・61)
幹事	堀田裕貴(17・18)	幹事	兼房はな(08・09)	幹事	藤井由紀子(60・61)
幹事	隅田優美(17・18)	幹事	石崎由香(08・09)	幹事	穂谷野弥生(60・61)
幹事	岩代美貴(18・19)	幹事	佐藤美幸(09・10)	幹事	小島みちよ(61・62)
幹事	加藤未奈(18・19)	幹事	大水由佳(09・10)	幹事	久保玲華(61・62)

役	職	氏名(在学年度)
幹	事	鈴木啓太郎(54・55)
幹	事	川口智彦(54~57)
幹	事	斎藤聰(54~57)
幹	事	柳川浩昭(54~57)
幹	事	高野真一(54~57)
幹	事	諏訪部健(55~58)
幹	事	小松徳弘(56~59)
幹	事	平野雅之(56~59)
幹	事	福田勝弘(56~59)
幹	事	宇田隆康(56~59)
幹	事	山本宏治(57~60)
幹	事	三浦仁(57~60)
幹	事	横田正(57~60)
幹	事	森田克彦(58~61)
幹	事	佐上菊二(58~61)
幹	事	小塚敏久(58~61)
幹	事	横溝泰蔵(59~62)
幹	事	池尻敏広(59~62)
幹	事	土田洋二(60~63)
幹	事	桑原健治(60~63)
幹	事	木俣かおり(61~01)
幹	事	増原伸一(61~01)
幹	事	犬塚重暁(63~03)
幹	事	野口厚(63~03)
幹	事	藤田隆(63~03)
幹	事	廣岡達郎(01~04)
幹	事	斎藤実(01~04)
幹	事	佐藤淳悦(01~04)
幹	事	高橋博樹(01~04)
幹	事	長谷川哲夫(01~04)
幹	事	村上東洋男(01~04)
幹	事	須田啓一郎(01~04)
幹	事	椿昌寛(01~04)
幹	事	南敦子(02~05)
幹	事	門脇正明(02~05)
幹	事	藤原誠吾(02~05)
幹	事	前田智也(02~05)
幹	事	坂井利彰(02~05)
幹	事	小田純子(02~05)
幹	事	田辺裕司(02~05)
幹	事	田松正樹(02~05)
幹	事	西岡昌仁(02~05)
幹	事	鎌田文一(02~05)
幹	事	沼尻正則(03~06)
幹	事	若松はるか(03~06)
幹	事	三宅大介(03~06)
幹	事	清水建(03~06)
幹	事	小塚達郎(03~06)
幹	事	紅林美智子(03~07)
幹	事	佐藤治夫(04~07)
幹	事	千野琢磨(04~07)
役	職	氏名(在学年度)
幹	事	守野恭介(23・24)
幹	事	須藤静香(24・25)
幹	事	田中菜絵(24・25)
幹	事	石井さくら(24・25)
幹	事	伊東亜珠沙(24・25)
幹	事	杉山亜梨沙(24・25)
幹	事	成田安実里(24・25)
幹	事	山田瑞歩(24・25)
幹	事	山本芽生(24・25)
幹	事	藤原麗(24・25)
幹	事	満間恵子(24・25)
幹	事	鈴木美優(25・26)
幹	事	天野真由香(25・26)
幹	事	恩田剛弥(25・26)
幹	事	齊藤花衣(25・26)
幹	事	林田千尋(25・26)
幹	事	野村歩(25・26)
幹	事	駒形亜海(26・27)
幹	事	中嶋千里(26・27)
幹	事	大島由樹(26・27)
幹	事	加藤早織(26・27)
幹	事	高橋美帆(26・27)
幹	事	田畠礼子(26・27)
幹	事	宮澤理紗(26・27)
幹	事	吉田まゆ子(26・27)
幹	事	長橋侑希(26・27)
幹	事	橋本華奈(27・28)
幹	事	鈴木麻友(27・28)
幹	事	大箸理沙(27・28)
幹	事	鈴木瑠菜(27・28)
幹	事	福島真由(27・28)
幹	事	西村早織(28・29)
幹	事	渡部もも(28・29)
幹	事	青木小百合(28・29)
幹	事	新井はるか(28・29)
科	事	宮下正俊(39・40)
幹	幹	菅沼弘(39・40)
幹	幹	向笠肇(40・41)
幹	幹	土屋貞明(42・43)
幹	幹	渡辺清(42・43)
幹	幹	赤地哲也(42・43)
幹	幹	吉田力(44・45)
幹	幹	長倉良幸(44・45)
幹	幹	三枝和彦(46・47)
幹	幹	渡辺昌宏(46・47)
幹	幹	勝間田太住(47・48)
幹	幹	天野寿一(48・49)
幹	幹	上原豊和(52・53)
幹	幹	西家勝彦(52・53)
幹	幹	久保田武生(52・53)
幹	幹	埜村光伸(53・54)
幹	幹	勝呂千明(53・54)
役	職	氏名(在学年度)
幹	事	澤谷友香里(18・19)
幹	事	豊田彩香(18・19)
幹	事	野口明日香(18・19)
幹	事	藤井里奈(18・19)
幹	事	松井志保美(18・19)
幹	事	萬両美幸(18・19)
幹	事	福島健嗣(18・19)
幹	事	村松海(18・19)
幹	事	廣江亞佐美(18・19)
幹	事	富井映里(19・20)
幹	事	木下涼平(19・20)
幹	事	中安美咲(19・20)
幹	事	藤井ゆりか(19・20)
幹	事	山本靖子(19・20)
幹	事	三宅ひとみ(19・20)
幹	事	青木裕也(20・21)
幹	事	小林可南子(20・21)
幹	事	石政未希(20・21)
幹	事	岩井友紀(20・21)
幹	事	澤木心美(20・21)
幹	事	杉本愛季(20・21)
幹	事	西原萌恵(20・21)
幹	事	横山千恵(20・21)
幹	事	市川佳夏子(20・21)
幹	事	青木萌子(21・22)
幹	事	長田知郁(21・22)
幹	事	清水遙(21・22)
幹	事	時吉結巳(21・22)
幹	事	湯山菜名(21・22)
幹	事	矢田さき(21・22)
幹	事	清水祥子(21・22)
幹	事	小見山伊代(21・22)
幹	事	山下あゆ(21・22)
幹	事	小嶋絵梨花(21・22)
幹	事	桑原里沙(22・23)
幹	事	小原美妃子(22・23)
幹	事	塩谷彰子(22・23)
幹	事	朝比奈涼子(22・23)
幹	事	篠原莉那(22・23)
幹	事	奈良彩夏(22・23)
幹	事	原賀あかり(22・23)
幹	事	渡邊愛菜(22・23)
幹	事	川久有紀(22・23)
幹	事	鵜澤まゆか(22・23)
幹	事	江打真衣(23・24)
幹	事	澤田明日香(23・24)
幹	事	諸星楓(23・24)
幹	事	朝日健太(23・24)
幹	事	大木史恩(23・24)
幹	事	鈴木沙羅(23・24)
幹	事	田島理瑛(23・24)
幹	事	深谷正城(23・24)
幹	事	堀佑美佳(23・24)

役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)	役	職	氏名(在学年度)
幹	事	西岡 基(18~21)	幹	事	鹿内 隼人(12~15)	幹	事	渡辺 将之(04~07)
幹	事	緒方 義明(18~21)	幹	事	齋藤 慎亮(12~15)	幹	事	杉山 文予(05~08)
幹	事	後藤奈津子(18~21)	幹	事	山本 克幸(12~15)	幹	事	江島 照美(05~08)
幹	事	祭 興斌(18~21)	幹	事	拓植由美子(12~15)	幹	事	室伏 寛美(05~08)
幹	事	片柳 健太(18~21)	幹	事	豊永有美子(12~15)	幹	事	田尻 美三(05~08)
幹	事	松原 慎(18~21)	幹	事	原 順子(12~15)	幹	事	青木 徹(05~08)
幹	事	木佐木枝里(18~21)	幹	事	小澤 有礼(12~15)	幹	事	大嶽 龍一(05~08)
幹	事	久保田真未(19~22)	幹	事	大野 達男(12~15)	幹	事	室伏 太郎(05~08)
幹	事	御所園智仁(19~22)	幹	事	太田 孝一(13~16)	幹	事	明石 浩一(05~09)
幹	事	阿部 裕樹(19~22)	幹	事	山川 利雄(13~16)	幹	事	沖倉 保宏(06~09)
幹	事	橋本 康弘(20~23)	幹	事	浅野 雄介(13~16)	幹	事	今川 慶(06~09)
幹	事	張替 祐介(20~23)	幹	事	本多 加奈(13~16)	幹	事	田中 智康(06~09)
幹	事	山下 昌志(20~23)	幹	事	山本 彩子(13~16)	幹	事	久芳 仁(06~09)
幹	事	本田 恵央(20~23)	幹	事	相見 大輔(13~16)	幹	事	植松 信二(06~09)
幹	事	小林 訓史(21~24)	幹	事	板橋 紗綾香(13~16)	幹	事	小林 寿成(07~10)
幹	事	白滝 成美(21~24)	幹	事	武田 泰弘(13~16)	幹	事	斎藤 美根子(07~10)
幹	事	茂木 宏之(21~24)	幹	事	浅石 友里子(13~16)	幹	事	瀬織 健太郎(07~10)
幹	事	望月 彩乃(22~25)	幹	事	渡邊 頌子(13~16)	幹	事	佐竹 篤(07~10)
幹	事	松山 直弘(22~25)	幹	事	河野 奈津子(14~17)	幹	事	川野 梨恵(07~10)
幹	事	大門 由佳(22~25)	幹	事	脇田 千草(14~17)	幹	事	正木 創一(08~11)
幹	事	石川 雄大(22~25)	幹	事	綱島 昇(14~17)	幹	事	井上 善史(08~11)
幹	事	牧野 竜太郎(23~26)	幹	事	塚田 泰章(14~17)	幹	事	登ヶ谷 祐人(08~11)
幹	事	福岡 泰祐(23~26)	幹	事	杉町 カウエ(14~17)	幹	事	金子 浩二(08~11)
幹	事	堀川 未来夢(23~26)	幹	事	小川 淳(14~17)	幹	事	内田 修(08~11)
幹	事	中尾 光太郎(24~27)	幹	事	内村 彩(14~17)	幹	事	成田 哲浩(09~12)
幹	事	本間 淳博(24~27)	幹	事	渡邊 賢治(14~17)	幹	事	井上 美由紀(09~12)
幹	事	永田 真希(24~27)	幹	事	井出 知里(15~18)	幹	事	井上 明子(09~12)
幹	事	佐野 佑太(24~27)	幹	事	井所 博志(15~18)	幹	事	徳田 瑞希(09~12)
幹	事	山本 豪(24~27)	幹	事	小倉 宏紀(15~18)	幹	事	斎藤 真規(10~13)
幹	事	高橋 義典(24~27)	幹	事	宮腰 治憲(15~18)	幹	事	長岡 福也(10~13)
幹	事	柿沼 友哉(24~27)	幹	事	田野口 眥太(15~18)	幹	事	筒井 靖子(10~13)
幹	事	前原 唯之介(24~27)	幹	事	菅家 奈都美(15~18)	幹	事	杉山 祥啓(10~13)
幹	事	秋間 一樹(25~28)	幹	事	藁谷 和正(17~18)	幹	事	大津留 真紀(10~13)
幹	事	松原 大輔(25~28)	幹	事	岩井 小百合(16~19)	幹	事	大友 仁美(10~13)
幹	事	石川 裕也(25~28)	幹	事	鈴木 弘明(16~19)	幹	事	佐野 京子(12~13)
幹	事	阿久津 未来也(25~28)	幹	事	黒子 佳恵(16~19)	幹	事	鈴木 亜希子(12~13)
幹	事	仲 萌菜実(26~29)	幹	事	大森 未奈子(16~19)	幹	事	園部 真子(12~13)
幹	事	嘉代 誠(26~29)	幹	事	笠倉 諒(16~19)	幹	事	長谷川 郁子(11~14)
幹	事	坂本 早穂(26~29)	幹	事	中山 優貴(17~20)	幹	事	土元 夏葉(11~14)
幹	事	小野 勇太(26~29)	幹	事	浅井 啓悟(17~20)	幹	事	竹腰 真裕子(11~14)
幹	事	武藤 航至(26~29)	幹	事	芹沢 崇(17~20)	幹	事	後藤 暢宏(11~14)
幹	事	野間口 健(26~29)	幹	事	関谷 紀志(17~20)	幹	事	竹村 直(11~14)
幹	事	山本 大樹(26~29)	幹	事	長谷川 孝洋(17~20)	幹	事	木下 真由美(11~14)
幹	事	橋本 龍馬(26~29)	幹	事	勝呂 孝(17~20)	幹	事	若月 朋子(11~14)
幹	事	田畠 祐梨(26~29)	幹	事	中島 由人(17~20)	幹	事	斎藤 久美絵(11~14)
幹	事	井上 和也(26~29)	幹	事	笠原 菜央子(17~20)	幹	事	川村 友江(11~14)
			幹	事	古山 結子(17~20)	幹	事	猪狩 博織(11~14)
			幹	事	永野 映吏可(18~21)	幹	事	山下 政幸(11~14)
			幹	事	勝又 智子(18~21)	幹	事	鈴木 さや夏(13~14)
						幹	事	川下 知恵(12~15)

## 国際関係学部 校友会総会開催



国際関係学部校友会

島高校同窓会三島支部と協賛し三島大祭りバージョンを追加し開催するなどの説明と挨拶の後、議事に移り、議長団・書記が選出となった。議長には西野和衛常任幹事、副議長には勝又義博常任幹事、書記には平岩美知子常任幹事が選出され、次の議事が報告及び審議された。

一 平成二十九年度事業報告

一 平成二十九年度決算報告

一 監査報告

一 平成三十年度事業計画(案)

一 平成三十年度予算(案)

一 平成三十年度新幹事選出

一 国際関係学部校友会関係物故者について

一 本部校友会関係行事等について

一 各科同窓会活動報告

一 その他

平成三十年六月三十日(土)十六時からみしまプラザホテルにおいて総会が開催された。

濱田義之副会長の司会で昨年の総会から本年六月末日までに逝去された会員に対し黙祷をささげた。続いて野中美香副会長の開会が伝えられ進行された。横山雅人会長から正会員加入による本部特典も年々増加しており登録者の増員を図りたい。また、平成二十八年度から始めた本校舎西側(県道二十一号線)銀杏並木歩道清掃作業を今年度も継続して実施したい。

また、卒業生が母校を訪ね在学時代を振り返つて頂く為に富桜祭開催期

間に校友会主催による物産展及びホームカミングデーと八月には日大三島高校同窓会三島支部と協賛し三島大祭りバージョンを追加し開催するなどの説明と挨拶の後、議事に移り、議長団・書記が選出となった。議長には西野和衛常任幹事、副議長には勝又義博常任幹事、書記には平岩美知子常任幹事が選出され、次の議事が報告及び審議された。

審議の結果、原案どおり承認され、二案について案の削除となつた。

業に当たり校友会会长賞及び優秀賞を授与された者並びに各同窓会から推薦があつた者で国際関係学部同窓会仲萌奈美以下五名、教養野村諒子以下二名、商経科同窓会海野順子以下三名、桜栄会西村沙織以下五名、工科同窓会渡辺昌宏を幹事に勝亦幾代幹事以下三名を常任幹事として推薦したい旨が事務局から提案があり承認された。

国際関係学部校友会関係物故者について

については田中由雄幹事長から昨年の総会から本年六月末日までに中島知之氏以下五名の会員の方がご逝去された旨の報告なされた。

本部校友会関係行事等については

田中由雄幹事長から平成三十年七月六日東京ドームホテルで開催された平成三十年度日本大学校友会役員総会において配布された会議資料として平成二十九年度事業報告・決算書及び平成三十年度事業計画・予算書を添付した。その中の資料として正会員申込用紙を同封してありますが、正会員加入により学部への収入増となるので、加入者促進に協力願いたいとの要請がなされた。

各科同窓会活動報告については報告事項なし。

江本博勝副会長の閉会のことばで総会は終了した。

田中由雄幹事長の司会で進行され、総会終了後、懇親会を開催した。

田中由雄幹事長の司会で進行され、

校歌斉唱に始まり横山雅人会長挨拶の後、来賓挨拶として江黒俊弘校友会本部事務局次長及び渡邊武一郎国際関係学部長の祝辞があつた。来賓紹介の後、岡本敬史国際関係学部事務局長による乾杯のご発声で懇談に移つた。国際関係学部チアリーディング部「スパークルズ」の演技があり、出席した来賓並びに校友の皆様との懇親を深め宮下公雄副会長により二本締めで閉会となつた。

## 国際関係学部同窓会

### 同窓会だより

#### 平成二十九年十月七日、第三十四回国際関係学部同窓会総会・懇親会

が東京都市ヶ谷の日本大学桜門会館にて開催されました。

今年度の同窓会総会・懇親会には約六十名の卒業生来賓の先生方が集いました。

総会では宮下公雄同窓会会長より挨拶があり、その後、事業報告、会計報告と続き、次年度の事業計画が審議されました。

懇親会におきましては渡邊武一郎学部長をはじめ、恩師である先生方と共に会員同士が思い出話を花を咲かせ、一層親睦を深め終始和やかな雰囲気で歓談され、懇親会は閉会となりました。

○銀杏並木歩道清掃作業  
毎月 第四日曜日 午前九時から 約一時間程度

○銀杏並木歩道清掃作業  
毎月 第四日曜日 午前九時から 約一時間程度

本校舎西側道路(県道二十一号線歩道)  
集合場所 大学門入って右手

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日) 十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室



国際関係学部同窓会

校友の皆様方のご参加をお待ちしております。また、十一月以降の行事内容については国際校友会ホームページに詳細を掲載致しますのでご覧ください。

校歌斉唱に始まり横山雅人会長挨拶の後、来賓挨拶として江黒俊弘校友会本部事務局次長及び渡邊武一郎国際関係学部長の祝辞があつた。来賓紹介の後、岡本敬史国際関係学部事務局長による乾杯のご発声で懇談に移つた。国際関係学部チアリーディング部「スパークルズ」の演技があり、出席した来賓並びに校友の皆様との懇親を深め宮下公雄副会長により二本締めで閉会となつた。

#### 国際関係学部同窓会

### 同窓会だより

#### 平成二十九年十月七日、第三十四回国際関係学部同窓会総会・懇親会

が東京都市ヶ谷の日本大学桜門会館にて開催されました。

今年度の同窓会総会・懇親会には約六十名の卒業生来賓の先生方が集

いました。

総会では宮下公雄同窓会会長より

挨拶があり、その後、事業報告、会

計報告と続き、次年度の事業計画が

審議されました。

懇親会におきましては渡邊武一郎

学部長をはじめ、恩師である先生方

と共に会員同士が思い出話を花を咲

かせ、一層親睦を深め終始和やかな

雰囲気で歓談され、懇親会は閉会と

なりました。

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

場所 校舎十五号館一階

○ホーリムカミングデー開催  
日時 十月二十七日(土)  
十時～十五時

場所 校舎十三号館二階 講師室

○富桜祭物産展参加  
日時 十月二十七日(土)・二十八日(日)  
十時～十六時

「桜栄会の皆さんへ」



桜栄会会長

何より私とともに六年間を共に活動して下さった実行委員会のメンバーの方にはこの紙面をお借りして心から感謝申し上げます。すべての行事が滞りなくやり遂げられましたのもみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

さで  
来る一一月一七日に  
桜栄会総会を十五号館にて開催  
いたします。それと同時に現代  
の赤ひげ先生と呼ばれる真弓定

夫先生のトキエメント映画「蘇れ生命の力」の上映会を行います。食や現代の生活を見直すいい機会になることと存じます。是非会員の皆さんもお誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げますとともに、会員の皆さまのご健康とご多幸を心より祈念申し上げます。

「新任ご挨拶」

A black and white oval-shaped portrait of a middle-aged man with glasses, a mustache, and short hair. He is wearing a dark suit jacket over a white shirt and a patterned tie. The background is a dense, out-of-focus foliage.

日本大学短期大学部  
食物栄養学科学長

高橋 敦彦

日本大学短期大学部桜栄会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと心よりお歎

び申し上げます。また、校友会、桜栄会の皆様方には私ども短期大学部（三島校舎）食物栄養学科・専攻科食物栄養専攻に対する平素のご支援・ご協力に深く感謝いたしますとともに厚く御礼申し上げます。本年七月上旬の西日本を中心とする「西日本豪雨」により被災されました会員の皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

私は小橋恵津先生の後任として平成二十七年四月に短期大学部に赴任して以来、解剖学、病理学、公衆衛生学、病理解剖学、疾病等を担当して参りました。平成三十年四月一日の人事異動により、前任の神戸絹代学科長の後任として食物栄養学科の学科長を拝命いたしました。世代交代とはいえ、長年教鞭をおとりになり、食物栄養学科を導いてくださいました室伏誠先生、三橋富子先生、神戸絹代先生がこの3年間に定年退職されました若輩者の私にとつて、食物栄養学科の長い歴史と現在食物栄養学科が置かれている困難な状況を思うとき、身が引き締まる思いがいたします。

食物栄養学科は過去三年間入学者の定員割れが続くという深刻な状況にあり、定員確保は喫

緊の課題となっています。こうした定員割れの要因としては、十八歳人口の減少による志願者の減少、大学・学部の新設、短期大学の四年制大学化、受験生の資格志向、高学歴志向、都心志向、高偏差値志向、ブランド大学志向などがあると考えます。もはや大学が学生を選ぶのではなく、学生が魅力ある大学を選択する時代になりました。

こうした変化を鑑み、以前から  
らの学生確保のための取り組み  
に加え、日本大学の食物栄養学  
科ならではの独自の特色を打ち  
出して、受験生に選ばれる大

学・学科とするべく、教員が一丸となり思い切った学生募集活動を行っています。校友会、桜

榮会の皆様方にもさまざまなかたちで御協力を賜ることもあろうかと思いますが、その際はなにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

研究面では喜ばしいことがございました。日本学術振興会の科学研究費助成金（科研費）は年々獲得が難しくなつておりますが、本年度、この科研費を食物栄養学科の教員四名が取得しました。今後の研究成果にご期待ください。

待いただければと思います。

「食品衛生学を通して  
見た時代の移り変わり」



日本大學短期大學部  
食物栄養學科教授

上田龍太郎

日本大学短期大学部  
食物栄養学科教授

上田龍太郎

校友会会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。私が日本大学三島キャンパスで教鞭を執るようになつてから早二十八年、食物栄養学科（以下食栄）の専任教員になつて、士養成施設であり続ける以上、社会で役立つ栄養士・管理栄養士を一人でも多く輩出することができます。私たちの責務と思つております。これからも一人ひとりの学生を大切にし、個性を伸ばす教育を心がけるべく努めてまいります。身近に栄養士・管理栄養士を目指している方がおられましたら、是非とも日本大学短期大学部・専攻科への進学をお薦めいただければ幸甚です。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。会員の皆様方のご活躍とご多幸を祈念申し上げます。

「食品衛生学を通して  
見た時代の移り変わり」

二十年が経過し、いつの間にか私が食栄の専任教員の中では最古参になつてしましました。この間、時代の変化に応じて栄養士養成カリキュラムが改正され、食栄の授業科目や内容にも変更が生じましたが、私の担当している食品衛生学においても時代の流れと共に内容の移り変わりが見られます。

私が非常勤講師として初めて食栄の教壇に立つたのは平成二年で

すが、その頃我が国で発生している食中毒事件の大半は細菌によるもので、特に腸炎ビブリオ、サルモネラ

菌、黄色ブドウ球菌が食中毒原因物質の上位三種として昭和の時代から続いていました。そんな流れに

変化が生じたのが、平成九年に西日本一帯を中心に発生した腸管出

血性大腸菌O157による大規模食中毒事件です。最終的な患者数が一万人を超えたこの事件は様々

な方面に影響を及ぼし、これ以後、学校給食での生野菜の使用が規制されました。この翌年、私は食栄の専任教員となりましたが、当時給食経営管理論を担当されていた市川陽子先生（現静岡県立大学教授）と話し合って富桜祭の模擬店参加団体に対して食中毒予防のための衛生講習会を行うと共に、学生自身が簡易的に行うことができ

る衛生チェックリストの作成、さらに理栄卒業生の中にはこれから管

模擬店参加者には検便を義務づけることなどを決めました。この制度は現在も引き継がれており、毎年富桜祭になると全模擬店団体を集めて私が衛生講習会を行っています。

現在、我が国で発生している食中毒原因物質の上位を占めているのはノロウイルスとカンピロバクター

ですが、特に患者数ではノロウイルスが圧倒的多数を占めています。

このノロウイルスは、私が食栄で教えはじめたころ使用していた教科書には掲載されておらず、平成五

年頃から小型球形ウイルス（SRS V）として教科書に載るようにな

りました。その後、平成十年に厚生労働省の食中毒統計にノロウイ

ルスという名称が初めて記載され、平成十三年頃から教科書にその名

が登場しはじめます。当初ノロウイルスがこんなに流行するとは予想

もしなかつた人が多いと思いますが、現在では校外実習先の一部施

設においてノロウイルスが検便の検査項目に指定されており、やはり

時代の流れを感じます。また八年

前から寄生虫が新たに食中毒原因物質のリストに追加され、近年、寄生虫による食中毒事件は増加

傾向にあります。

理栄卒業生の中にはこれから管

模擬店参加者には検便を義務づけることなどを決めました。この制度は現在も引き継がれており、毎年富桜祭になると全模擬店団体を集めて私が衛生講習会を行っています。

現在、我が国で発生している食中毒原因物質の上位を占めているのはノロウイルスとカンピロバクター

ですが、特に患者数ではノロウイルスが圧倒的多数を占めています。

このノロウイルスは、私が食栄で教えはじめたころ使用していた教科

書には掲載されておらず、平成五

年頃から小型球形ウイルス（SRS V）として教科書に載るようにな

りました。その後、平成十年に厚生労働省の食中毒統計にノロウイ

ルスという名称が初めて記載され、平成十三年頃から教科書にその名

が登場しはじめます。当初ノロウイルスがこんなに流行するとは予想

もしなかつた人が多いと思いますが、現在では校外実習先の一部施

設においてノロウイルスが検便の検査項目に指定されており、やはり

時代の流れを感じます。また八年

前から寄生虫が新たに食中毒原因物質のリストに追加され、近年、寄生虫による食中毒事件は増加

傾向にあります。

理栄卒業生の中にはこれから管

模擬店参加者には検便を義務づけることなどを決めました。この制度は現在も引き継がれており、毎年富桜祭になると全模擬店団体を集めて私が衛生講習会を行っています。

現在、我が国で発生している食中毒原因物質の上位を占めているのはノロウイルスとカンピロバクター

ですが、特に患者数ではノロウイルスが圧倒的多数を占めています。

このノロウイルスは、私が食栄で教えはじめたころ使用していた教科

書には掲載されておらず、平成五

年頃から小型球形ウイルス（SRS V）として教科書に載るようにな

りました。その後、平成十年に厚生労働省の食中毒統計にノロウイ

ルスという名称が初めて記載され、平成十三年頃から教科書にその名

が登場しはじめます。当初ノロウイルスがこんなに流行するとは予想

もしなかつた人が多いと思いますが、現在では校外実習先の一部施

設においてノロウイルスが検便の検査項目に指定されており、やはり

時代の流れを感じます。また八年

前から寄生虫が新たに食中毒原因物質のリストに追加され、近年、寄生虫による食中毒事件は増加

傾向にあります。

理栄卒業生の中にはこれから管

模擬店参加者には検便を義務づけることなどを決めました。この制度は現在も引き継がれており、毎年富桜祭になると全模擬店団体を集めて私が衛生講習会を行っています。

現在、我が国で発生している食中毒原因物質の上位を占めているのはノロウイルスとカンピロバクター

ですが、特に患者数ではノロウイルスが圧倒的多数を占めています。

このノロウイルスは、私が食栄で教えはじめたころ使用していた教科

書には掲載されておらず、平成五

年頃から小型球形ウイルス（SRS V）として教科書に載るようにな

りました。その後、平成十年に厚生労働省の食中毒統計にノロウイ

ルスという名称が初めて記載され、平成十三年頃から教科書にその名

が登場しはじめます。当初ノロウイルスがこんなに流行するとは予想

もしなかつた人が多いと思いますが、現在では校外実習先の一部施

設においてノロウイルスが検便の検査項目に指定されており、やはり

時代の流れを感じます。また八年

前から寄生虫が新たに食中毒原因物質のリストに追加され、近年、寄生虫による食中毒事件は増加

傾向にあります。

理栄卒業生の中にはこれから管

模擬店参加者には検便を義務づけることなどを決めました。この制度は現在も引き継がれており、毎年富桜祭になると全模擬店団体を集めて私が衛生講習会を行っています。

現在、我が国で発生している食中毒原因物質の上位を占めているのはノロウイルスとカンピロバクター

ですが、特に患者数ではノロウイルスが圧倒的多数を占めています。

このノロウイルスは、私が食栄で教えはじめたころ使用していた教科

書には掲載されておらず、平成五

年頃から小型球形ウイルス（SRS V）として教科書に載るようにな

りました。その後、平成十年に厚生労働省の食中毒統計にノロウイ

ルスという名称が初めて記載され、平成十三年頃から教科書にその名

が登場しはじめます。当初ノロウイルスがこんなに流行するとは予想

もしなかつた人が多いと思いますが、現在では校外実習先の一部施

設においてノロウイルスが検便の検査項目に指定されており、やはり

時代の流れを感じます。また八年

前から寄生虫が新たに食中毒原因物質のリストに追加され、近年、寄生虫による食中毒事件は増加

傾向にあります。

理栄卒業生の中にはこれから管

模擬店参加者には検便を義務づけることなどを決めました。この制度は現在も引き継がれており、毎年富桜祭になると全模擬店団体を集めて私が衛生講習会を行っています。

現在、我が国で発生している食中毒原因物質の上位を占めているのはノロウイルスとカンピロバクター

ですが、特に患者数ではノロウイルスが圧倒的多数を占めています。

このノロウイルスは、私が食栄で教えはじめたころ使用していた教科

書には掲載されておらず、平成五

年頃から小型球形ウイルス（SRS V）として教科書に載るようにな

りました。その後、平成十年に厚生労働省の食中毒統計にノロウイ

ルスという名称が初めて記載され、平成十三年頃から教科書にその名

が登場しはじめます。当初ノロウイルスがこんなに流行するとは予想

もしなかつた人が多いと思いますが、現在では校外実習先の一部施

設においてノロウイルスが検便の検査項目に指定されており、やはり

時代の流れを感じます。また八年

前から寄生虫が新たに食中毒原因物質のリストに追加され、近年、寄生虫による食中毒事件は増加

傾向にあります。

理栄卒業生の中にはこれから管

模擬店参加者には検便を義務づけることなどを決めました。この制度は現在も引き継がれており、毎年富桜祭になると全模擬店団体を集めて私が衛生講習会を行っています。

現在、我が国で発生している食中毒原因物質の上位を占めているのはノロウイルスとカンピロバクター

ですが、特に患者数ではノロウイルスが圧倒的多数を占めています。

このノロウイルスは、私が食栄で教えはじめたころ使用していた教科

書には掲載されておらず、平成五

年頃から小型球形ウイルス（SRS V）として教科書に載るようにな

りました。その後、平成十年に厚生労働省の食中毒統計にノロウイ

ルスという名称が初めて記載され、平成十三年頃から教科書にその名

が登場しはじめます。当初ノロウイルスがこんなに流行するとは予想

もしなかつた人が多いと思いますが、現在では校外実習先の一部施

設においてノロウイルスが検便の検査項目に指定されており、やはり

時代の流れを感じます。また八年

前から寄生虫が新たに食中毒原因物質のリストに追加され、近年、寄生虫による食中毒事件は増加

傾向にあります。

理栄卒業生の中にはこれから管

模擬店参加者には検便を義務づけることなどを決めました。この制度は現在も引き継がれており、毎年富桜祭になると全模擬店団体を集めて私が衛生講習会を行っています。

現在、我が国で発生している食中毒原因物質の上位を占めているのはノロウイルスとカンピロバクター

ですが、特に患者数ではノロウイルスが圧倒的多数を占めています。

このノロウイルスは、私が食栄で教えはじめたころ使用していた教科

書には掲載されておらず、平成五

年頃から小型球形ウイルス（SRS V）として教科書に載るようにな

りました。その後、平成十年に厚生労働省の食中毒統計にノロウイ

ルスという名称が初めて記載され、平成十三年頃から教科書にその名

が登場しはじめます。当初ノロウイルスがこんなに流行するとは予想

もしなかつた人が多いと思いますが、現在では校外実習先の一部施

設においてノロウイルスが検便の検査項目に指定されており、やはり

時代の流れを感じます。また八年

前から寄生虫が新たに食中毒原因物質のリストに追加され、近年、寄生虫による食中毒事件は増加

傾向にあります。

理栄卒業生の中にはこれから管

模擬店参加者には検便を義務づけることなどを決めました。この制度は現在も引き継がれており、毎年富桜祭になると全模擬店団体を集めて私が衛生講習会を行っています。

現在、我が国で発生している食中毒原因物質の上位を占めているのはノロウイルスとカンピロバクター

ですが、特に患者数ではノロウイルスが圧倒的多数を占めています。

このノロウイルスは、私が食栄で教えはじめたころ使用していた教科

書には掲載されておらず、平成五

年頃から小型球形ウイルス（SRS V）として教科書に載るようにな

りました。その後、平成十年に厚生労働省の食中毒統計にノロウイ

ルスという名称が初めて記載され、平成十三年頃から教科書にその名

が登場しはじめます。当初ノロウイルスがこんなに流行するとは予想

もしなかつた人が多いと思いますが、現在では校外実習先の一部施

設においてノロウイルスが検便の

## 「四年間の学びと現在」



専攻科・十七期

### 福井亜矢

も専攻科に進んでもうと色々なことを学びたいと考え進学を決めました。学内入試はすでに終わっていて、十一月の学外入試に向けて必死で勉強しました。既に専攻科進学を決めていた友人たちに問題の傾向や論文の書き方を学び、無事合格することができました。

私が食物栄養学科に入学を決めたきっかけは、親戚に栄養士として勤めている方がいらしたからです。食べる事が大好きな私は、将来は食品関連の仕事に就きたい高校も食について学ぶことが出来る学校を選びました。そして栄養士の資格が取得できるこの学科に入学しました。

入学後は短大時代からお世話になっていた上田龍太郎教授の研究室に所属し、魚類の細菌叢について研究を行いました。短大時代も同テーマで研究を行つてきましたが、より専門的に研究に取り組むことが出来て理解も深まったと感じています。そうした中で栄養士としてではなく一般企業などで細菌検査を行いたいと考えるようになりました。

就職活動が始まり、多くの企業の採用試験を受け現在働いている

学科に入学して一年と少し経ち、就職活動が始まりました。私は短大卒業後、栄養士として老人福祉施設、保育園などで働きたいと考えていたのでそういうところで主に面接を受けていました。しかし、ある委託給食会社での集団面接の際に四年制大学の方と同席することになり、短大で得た知識と四年間で得られる知識の違いにとても驚いてしまいました。そしてこのまま栄養士として働くより

せていません。しかしながら生活し

ていくうえで「食」は切っても切り離せないものなので、四年間の学びが出来ると考えています。大学生生活はからの生活で生かせること

が出来ると考えています。大学生生活はつらいこともたくさんあります。現在も親交のある友人もたくさんできました。この学科に入つたら栄養士にならなければいけない

といふこともないと私は考えています。視野を広げて、実りある学生生活を送つてほしいです。

### 「食物栄養学科で学んだこと」



専攻科・十七期

### 佐々木里緒

就職活動が始まり、多くの企業の採用試験を受け現在働いている

学科に入学して一年と少し経ち、就職活動が始まりました。私は短大卒業後、栄養士として老人福祉施設、保育園などで働きたいと考えていたのでそういうところ

で主に面接を受けていました。しかし、ある委託給食会社での集団面接の際に四年制大学の方と同席することになり、短大で得た知識と四年間で得られる知識の違いにとても驚いてしまいました。そしてこのまま栄養士として働くより

せていません。しかしながら生活し

ていいうえで「食」は切っても切り離せないものなので、四年間の学びが出来ると考えています。大学生生活はつらいこともたくさんあります。現在も親交のある友人もたくさんできました。この学科に入つたら栄養士にならなければいけないといふこともないと私は考えています。視野を広げて、実りある学生生活を送つてほしいです。

だつたため、あつという間に過ぎてしましました。一年生の終わりごろから周りの友人たちは就職活動を始めており、私も少し遅れて活動を始めたのですが、このまま栄養士として働けるのか、とても不安に感じ、もっと栄養について学びたいと考え、専攻科に進学を決めました。

専攻科では、一年目は室伏誠教授の研究室で血球について研究を行い、室伏教授が定年退職されたため、二年目は高橋敦彦教授の研究室に所属し、食事が血圧や心拍、自律神経活性に及ぼす影響について研究を行いました。一年次と全く異なる内容でまた○からのスタートだったため、大変不安ではありましたでしたが、先生のご指導を賜り、なんとか無事に論文を書き終え、専攻科を修了することができました。

専攻科を修了後は、当初希望していた商品開発の仕事には就けませんでしたが、委託給食会社に就職し病院で病態別、食形態別に患者様に食事の提供を行つてきました。プロジェクトMでの経験を活かして、患者様が食べたいと思えるような盛り付け方等日々の業務で工夫できることを探しながら食事を作っていました。

私が短大から専攻科までの学生生活で最も印象に残っていることは、生活で最も印象に残っていることは、学科に入学し、その後専攻科に進学しました。私が栄養士を目指した理由は、もともと食にとても関心があり、食に携われる仕事を探していました。私が栄養士を目指す目的とし、プロジェクトMの目的に賛同していただける様々な企業と提携し、活動を行いました。また、三島市の佐野、三ツ谷に畑を借り、じやがいも、さつまいも等を育てて収穫をおこないました。また校友

私は、平成二十五年に食物栄養学科に入学し、その後専攻科に進学しました。まだ入社二年目ですが現場での細菌検査を担当させてもらい、研究課の方々と話し合いながらどうやって一般生菌の数を減らしていくか、現場の社員により理解を深めてもらうにはどうしたらいいか、などについて考えています。

私は栄養士の資格は持っていますが、現在の職務ではそれを生かせていません。しかしながら生活していま

私は、平成二十五年に食物栄養学科に入学し、その後専攻科に進学しました。まだ入社二年目ですが現場での細菌検査を担当させてもらい、研究課の方々と話し合いながらどうやって一般生菌の数を減らしていくか、現場の社員により理解を深めてもらうにはどうしたらいいか、などについて考えています。

私は栄養士の資格は持っていますが、現在の職務ではそれを生かせていません。しかしながら生活していま



# 日本大学国際関係学部校友会会則

## 第1章 総 則

### (名 称)

第1条 本会は日本大学国際関係学部校友会と称する。

### (事務局)

第2条 本会は事務局を静岡県三島市文教町2丁目31番145号に置く。

## 第2章 目的及び事業

### (目 的)

第3条 本会は会員相互の親睦と融和をはかり母校の発展に寄与すると共に母校建学の理念を社会に拡充することを目的とする。

### (事 業)

第4条 本会は前条目的達成のために次の事業を行う。

- 1 会報発行・会員名簿の作成
- 2 会員相互の親睦と融和をはかるための諸事業
- 3 母校の発展興隆に関する諸事業への協力参加
- 4 その他目的達成のために必要な諸事業

## 第3章 会 員

### (会員構成)

第5条 本会は日本大学三島予科・三島教養部・文理学部三島・短期大学部（三島校舎）・専攻科食物栄養専攻・国際関係学部・大学院国際関係研究科の出身者および在籍した者による正会員と幹事会において本会に關係が深く功勞があると認められた特別会員・名誉会員並びに準会員である国際関係学部・大学院国際関係研究科・短期大学部（三島校舎）の在学生をもって構成する。

2 特別会員・名誉会員並びに準会員は議決権は有しないものとする。

### (会 費)

第6条 会員は規程の定めるところにより、会費を納入しなければならない。

2 会費及び徴収方法は別に定める。

3 特別会員・名誉会員は会費を徴収しないものとする。

## 第4章 役 員

### (役員構成)

第7条 本会に次の役員を置く。

- 会 長 1名  
副 会 長 若干名  
幹 事 長 1名  
常 任 幹 事 若干名  
幹 事 若干名  
会 計 監 査 2名

### (顧問・参与)

第8条 本会は顧問・参与を置くことができる。

2 顧問・参与は幹事会の議を経て会長が委嘱する。

### (役員の選出)

第9条 会長は会長・副会長会議で推薦され、総会にて承認を得るものとする。

- 2 副会長は国際関係学部校友会を構成する各同窓会会长或は在学した者の代表者とし会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 3 幹事長は常任幹事から会長が推薦し、常任幹事会に報告するものとする。
- 4 常任幹事は各科同窓会代表幹事とし、常任幹事から庶務担当・会計担当を幹事長が指名し、会長・副会長会議に報告するものとする。
- 5 幹事は国際関係学部校友会表彰者或は各科同窓会会长から推薦し、幹事会に報告するものとする。

### (任 期)

第10条 各役員の任期は3年とし、再任は妨げない。ただし満80歳をもって定年とする。なお、期間は当該年度内とする。

2 欠員が生じたときは、必要に応じて補選し、その任期は前任者の残存期間とする。

3 任期満了した場合においても、後任者が就任するまでの間その職務を行う。

### (役員の職務)

第11条 会長は本会を代表し会務を総括する。

2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

3 幹事長は事務を統括し、本会運営に必要な一切の事務事項を遂行する。

4 常任幹事は幹事の互選により選出し、常任幹事会を構成、本会業務の遂行にあたる。

5 幹事は幹事会を構成し、本会運営の諸事項の議決にあたる。

6 顧問・参与は本会の重要事項につき、会長の諮問に応ずるものとする。

なお、顧問・参与には役員に関する規定を準用する。

## 第5章 会 議

### (会議及び議決方法)

第12条 本会の会議は、総会・会長、副会長会議・常任幹事会・幹事会の4種とする。

2 会議は会長が招集し、議長団はその都度選出する。

3 やむを得ない場合は、常任幹事会及び幹事会をもって総会に代ることができる。

### (会議の構成及び開催)

第13条 本会は目的達成のため下記の機関を置く。

2 総会は本会運営上の諸事項についての報告を受けこれを承認する。

総会は年1回開催するものとし会長がこれを招集する。

3 常任幹事会は常任幹事以上の役員を以て構成し本会の執行機関として本会の実質的運営にあたる。常任幹事会は必要に応じて隨時会長がこれを招集する。常任幹事3分の1以上の要求があった場合はこれを招集しなければならない。

4 幹事会は総会の代行機関として第14条の事項を付議し、これを議決する。

幹事会は年1回以上開催するものとし会長がこれを招集する。幹事3分の1以上の要求があった場合は臨時に招集しなければならない。

5 事務局は幹事長指示のもと会員相互の連絡及び各会議の議事の収録並びに運営に必要な一切の事務を行う。

### (総会の審議)

第14条 総会は次の事項を審議し議決する。

2 会則及び重要規定の制定、改廃に関する事項。

3 事業計画に関する事項。

4 予算・決算に関する事項。

5 会長の選任に関する事項。

6 その他第4条に基づいて必要と認められた事項。

## 第6章 支 部

### (支部の設置)

第15条 本会は円滑な発展と交流の促進のために支部を設けることができる。

2 支部の設置条件及び方法は別に定める。

## 第7章 会 計

### (会計年度)

第16条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

### (経費)

第17条 本会の経費は、会費並びに寄付金その他の収入を以てこれを充てる。

### (会計監査)

第18条 会計監査は本会会計及び財務について監査し、その結果を総会にて報告する。

## 第8章 会 則

### (会則変更)

第19条 本会の会則の変更は総会の議を経てこれを決する。

### (会則の遵守)

第20条 国際関係学部校友会は日本大学校友会会則及び支部規程を遵守しなければならない。

### (施行細則)

第21条 この会則に必要な細則は会長・副会長会議及び常任幹事会の議決を経て会長がこれを施行する。

## 第9条 表 彰

### (表彰)

第22条 本会の目的及び事業に貢献した者は幹事会の議を経て、これを賞することができる。

2 卒業予定者及び在学生に対する会長賞等の表彰規定は別に定める。

## 第10章 除 名

### (会員除名)

第23条 会員が次の事項に該当した行為があったときは幹事会の議を経て除名することができる。

2 国際関係学部の名誉を傷つけ、また校友としての品位を害する言動があったとき。

3 校友会の秩序を乱したとき。

4 故意または重大な過失により校友会に損害を与えたとき。

付 則 本会則は平成23年8月1日より施行する。

# 日本大学校友会組織図

日本大学校友会(校友会本部事務局)

都道府県支部(65 支部)

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・帯広・留萌・苫小牧・網走・釧路)  
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)  
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)  
東京ブロック(東京都第一・東京都第二・東京都第三・東京都第四・東京都第五・  
東京都第六・東京都第七)  
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)  
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)  
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)  
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)  
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)  
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会(18部会)

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際関係・危機管理・スポーツ科・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信

職域別部会(4 部会)

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会

海外特別支部(8 支部)

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・インドネシア

# 日本大学国際関係学部校友会組織図

国際関係学部校友会  
(旧三島同窓会)

三島豫科  
三島教養部  
文理学部(三島)

短期大学部  
桜文会(国文・英文)  
商経科同窓会(1・2部・ビジネス教養)  
桜栄会(栄養・家政・食栄・生活・専攻科)  
工科同窓会(建築・機械)

国際関係学部同窓会